

2026-2028年度 中期経営方針

— 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて —

当社を取り巻く外部環境は、引き続き不透明感が一層高まっている。
地政学リスクの高まりに加え、グローバルでのEVシフトの鈍化に伴う、各得意先の
商品計画・投資計画の大幅な見直しなど、将来を予見することが困難な状況にある。

こうした状況を踏まえ、2028年度以降の計画については不確定要素が大きいため、
定量的な目標は2026年度・2027年度とする。

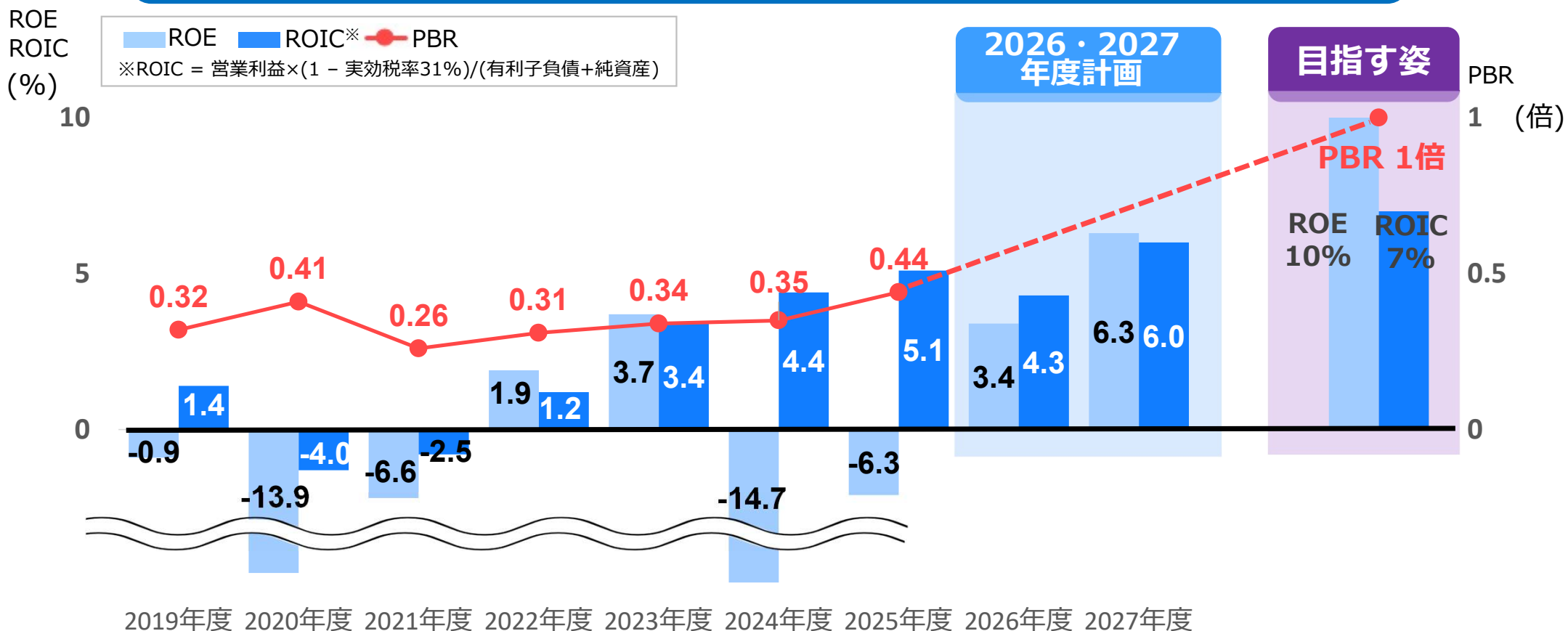
2026年度・2027年度は、構造改革の完遂を踏まえ、新商品・新分野に向けた戦略的
技術開発と拡販活動を加速する。

- 1. 現状分析**
 - 2. 方針と目標**
 - 3. 取り組む施策**
-

- 1. 現状分析**
 2. 方針と目標
 3. 取り組む施策
-

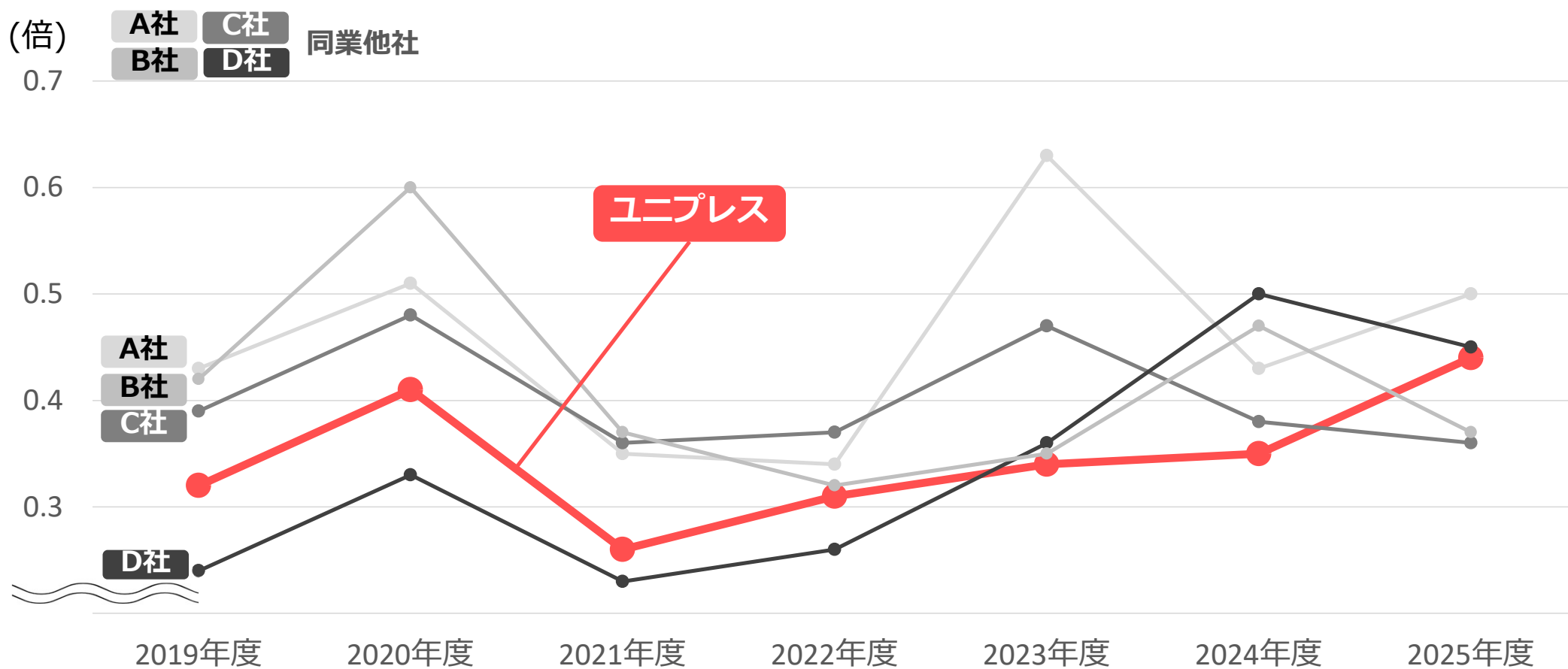
ROE・ROIC・PBRの推移

- 本業の収益力強化が進み、ROICは改善基調
- 生産体制見直しにともなう減損損失が響き、ROEはマイナス



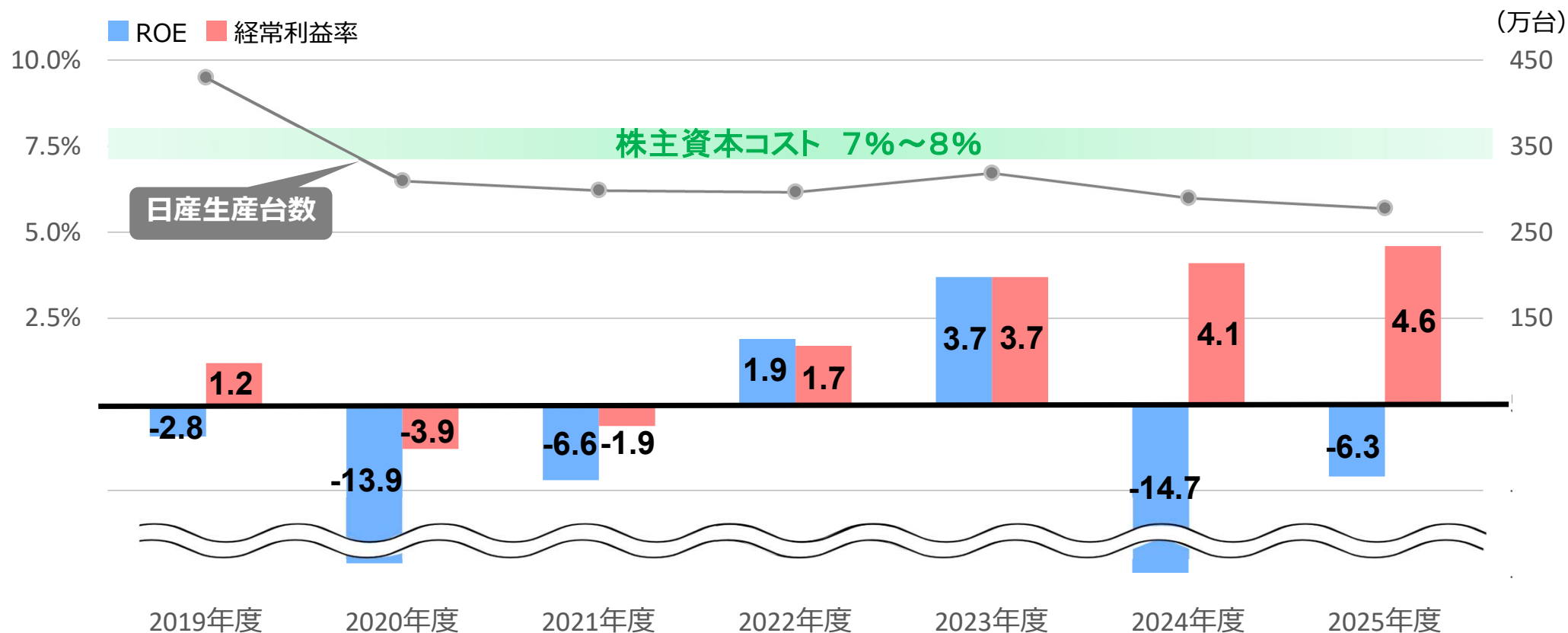
PBR同業他社比較

同業他社の中でも、当社のPBRは着実に改善している



株主資本コストとROEの関係

- 2019年度以降、生産台数は大幅に減少も、経常利益は着実に改善
- 目指すROE水準に向け、引き続き収益力の向上と自己資本をコントロール



1. 現状分析
 - 2. 方針と目標**
 3. 取り組む施策
-

環境認識

自動車メーカー動向の変化

- 中国自動車メーカーの急速なグローバル展開
- EV化の鈍化による各自動車メーカー商品戦略の見直し

経済動向の不透明感

- 地政学リスクの高まり
- エネルギー価格の高騰に端を発したインフレ懸念

2026年度

2027年度以降

構造改革

最適な生産体制の構築

スマート化

コスト競争力の向上

成長戦略

戦略的技術開発の充実・加速

事業・財務面だけでなく、各ステークホルダーに対する取り組みを強化

PBR向上

ROEの向上

事業戦略

- 最適な生産体制の構築
- スマート化によるコスト競争力の向上
- 戦略的技術開発の充実・加速

財務戦略

- 生産数量の変化に強い収益体質
- 事業構造に最適な自己資本

PERの改善

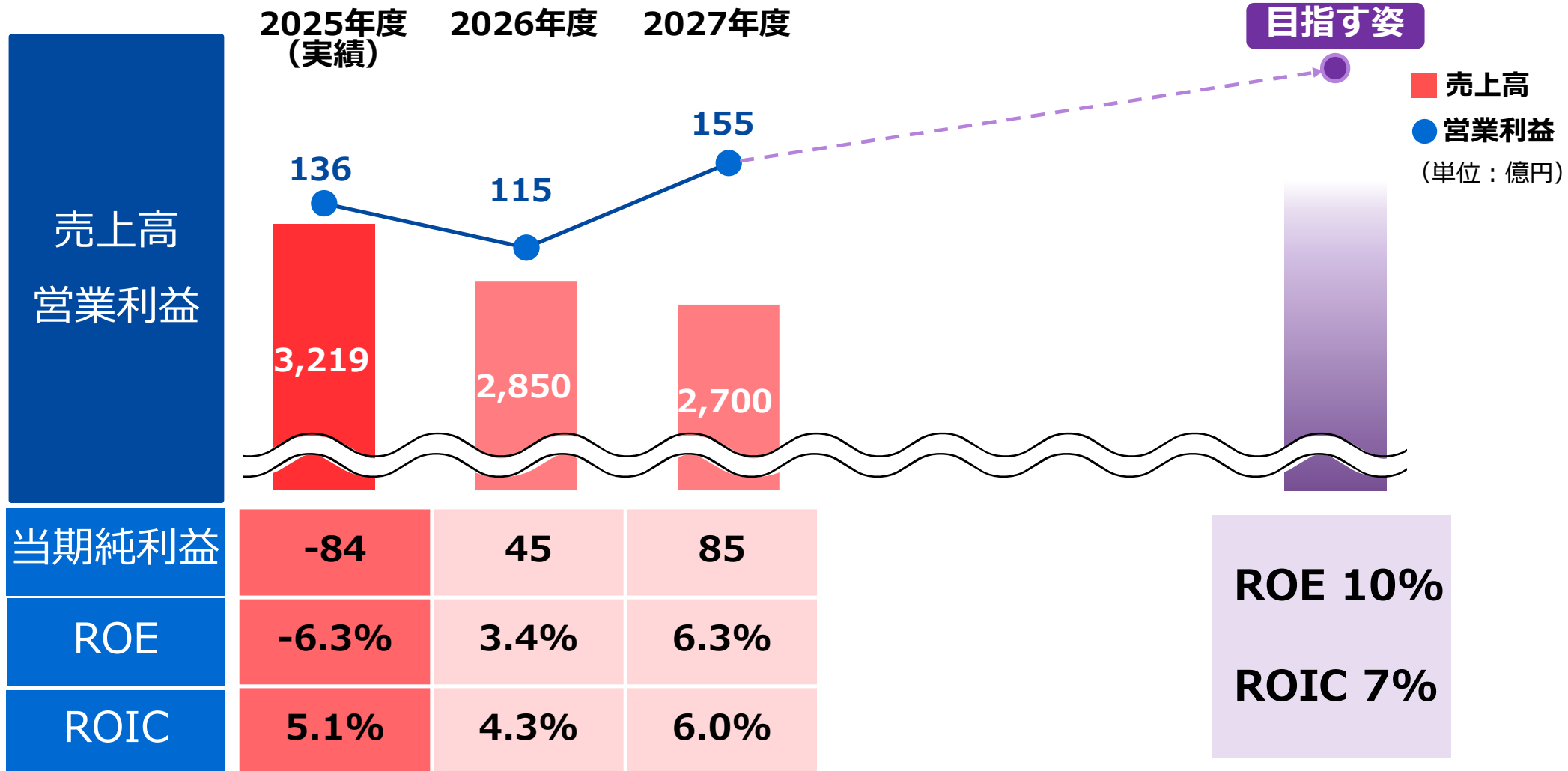
株主還元の充実

- DOEを指標とした配当政策
- 機動的な自己株式の取得

成長性への期待

- サステナビリティ経営の推進
- 投資家との対話強化

2026-2028年度 中期経営方針経営指標と目標



1. 現状分析
 2. 方針と目標
 - 3. 取り組む施策**
-

構造改革

最適な生産体制の構築

生産体制を抜本的に見直し

スマート化

コスト競争力の向上

「スマート工場」
「スマート開発」実現
への取り組みを強化

成長戦略

戦略的技術開発の充実・加速

既存商品の付加価値向上に加え、新商品や新分野に向けた技術開発を加速

【構造改革】最適な生産体制の構築

事業戦略

株主還元の充実

財務戦略

成長性への期待



生産体制を抜本的に見直し

- 中国拠点数： 7 ⇒ 3
- タイ拠点数： 1 ⇒ 0
- ブラジル拠点数： 1 ⇒ 0

●：継続する拠点 ✳：削減もしくは削減予定の拠点

黒字：実施完了

赤字：今後実施予定

＜中国拠点：再編＞

生産3拠点（広州、鄭州、武漢）を広州中心に集約中

・武漢の生産を広州に移管（25年11月）

・**鄭州の生産を広州に移管（26年度中に移管予定）**

ホットスタンプ合併事業

・ホットスタンプ合併事業を解消し、100%子会社化（25年10月）

・生産2拠点（広州、鄭州）を広州に集約（26年2月）

金型事業分社化（25年6月）

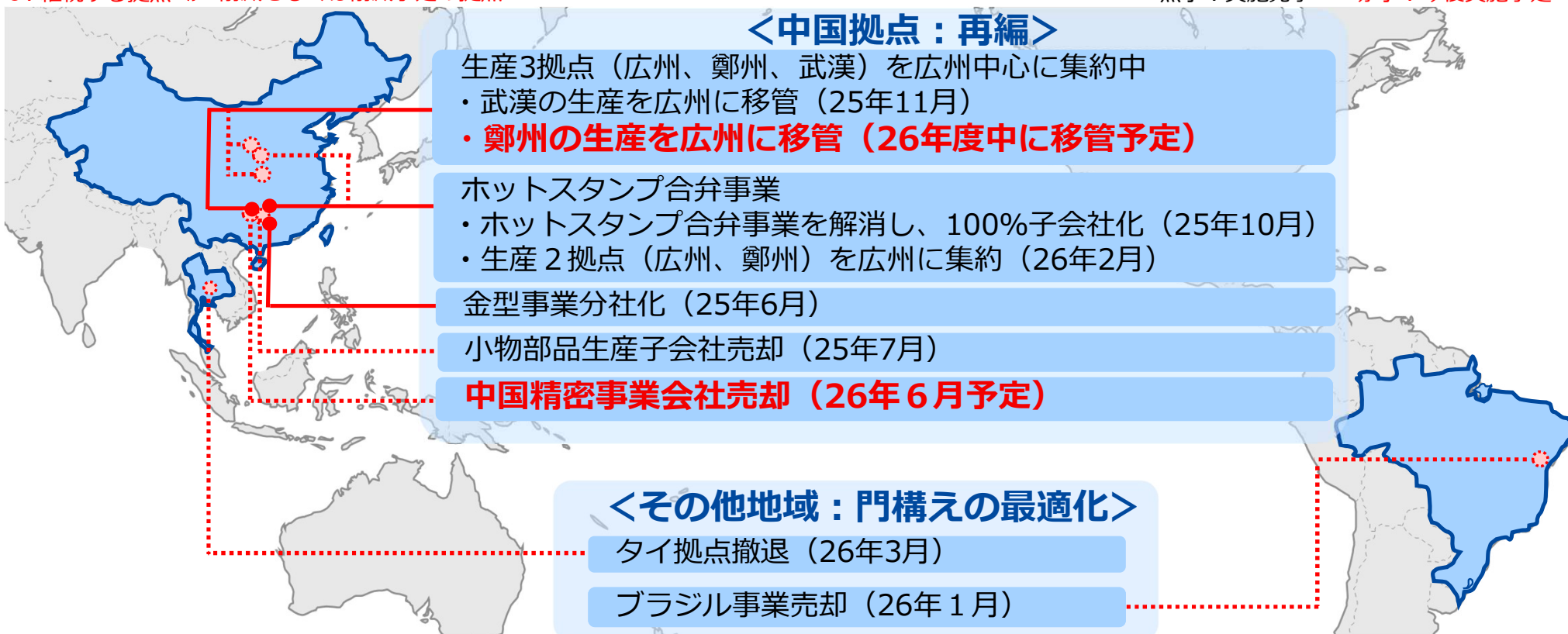
小物部品生産子会社売却（25年7月）

中国精密事業会社売却（26年6月予定）

＜その他地域：門構えの最適化＞

タイ拠点撤退（26年3月）

ブラジル事業売却（26年1月）



【構造改革】最適な生産体制の構築

事業戦略

株主還元の充実

財務戦略

成長性への期待



日本拠点も大幅な再編を推進

- 車体事業 関東地域拠点数： 5 ⇒ 2
- 精密事業 拠点数： 4 ⇒ 2
- 樹脂事業 拠点数： 3 ⇒ 2

<日本拠点再編>

車体拠点を小山・真岡工場へ集約中

栃木インサイトは生産移管・閉鎖（26年度予定）

相模車体工場は生産移管・閉鎖（27年度予定）

追浜インサイトは生産移管・閉鎖（28年度予定）

精密拠点を富士工場&ユニプレス精密へ集約中

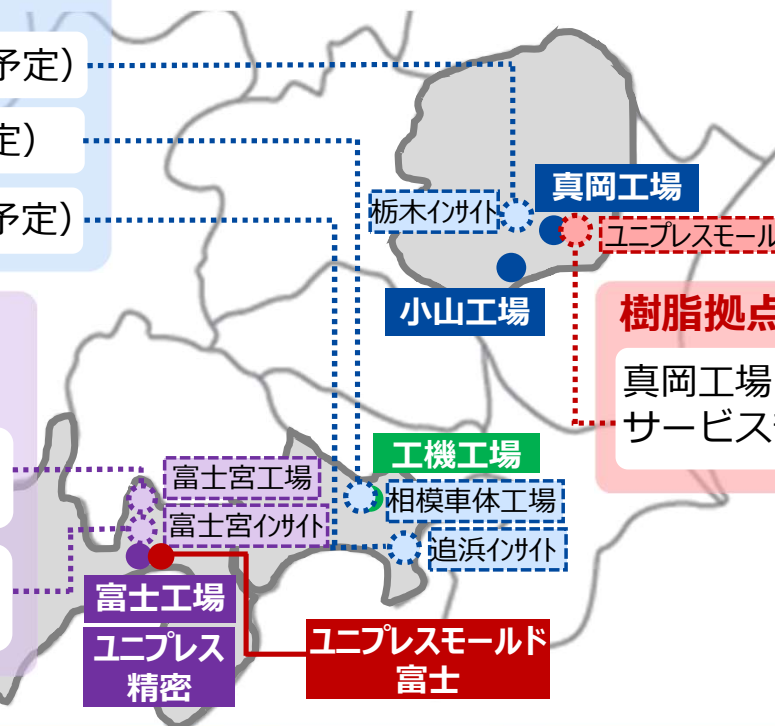
富士宮工場の量産部品を生産移管し、サービス部品工場とする（28年度予定）

富士宮インサイトは生産移管・閉鎖（28年度予定）

樹脂拠点を富士・広島工場へ集約予定

真岡工場（樹脂）の量産部品を生産移管し、サービス部品工場とする（27年度予定）

- 車体工場
- 樹脂工場
- 精密工場
- 工機工場
- 削減もしくは削減予定の拠点



富士工場
ユニプレス
精密

ユニプレスモールド
富士

【構造改革】 最適な生産体制の構築

事業戦略

株主還元の充実

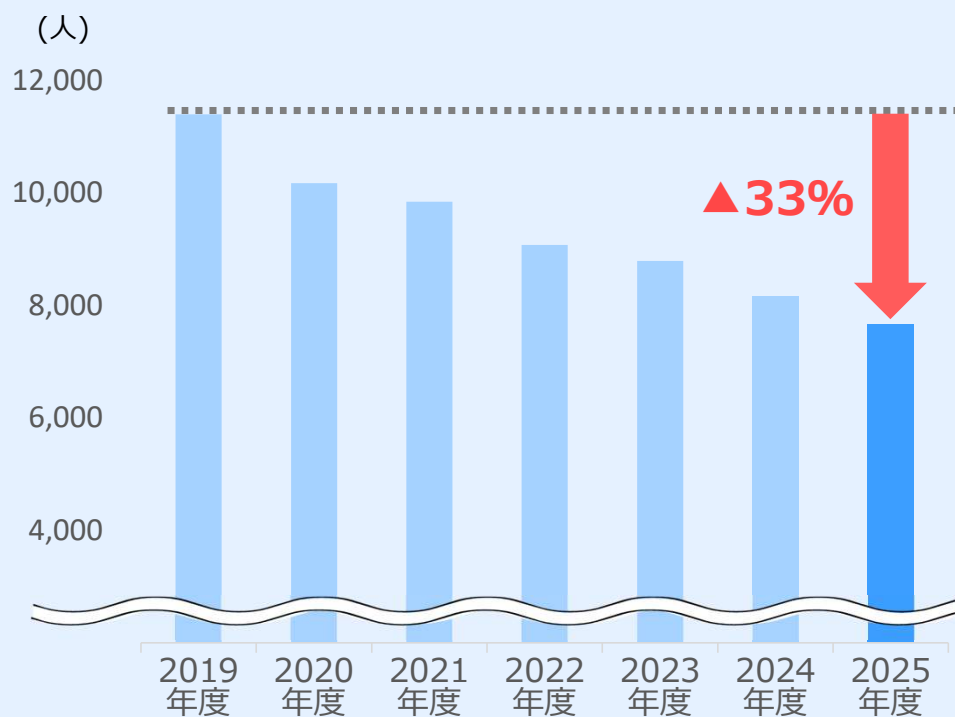
財務戦略

成長性への期待

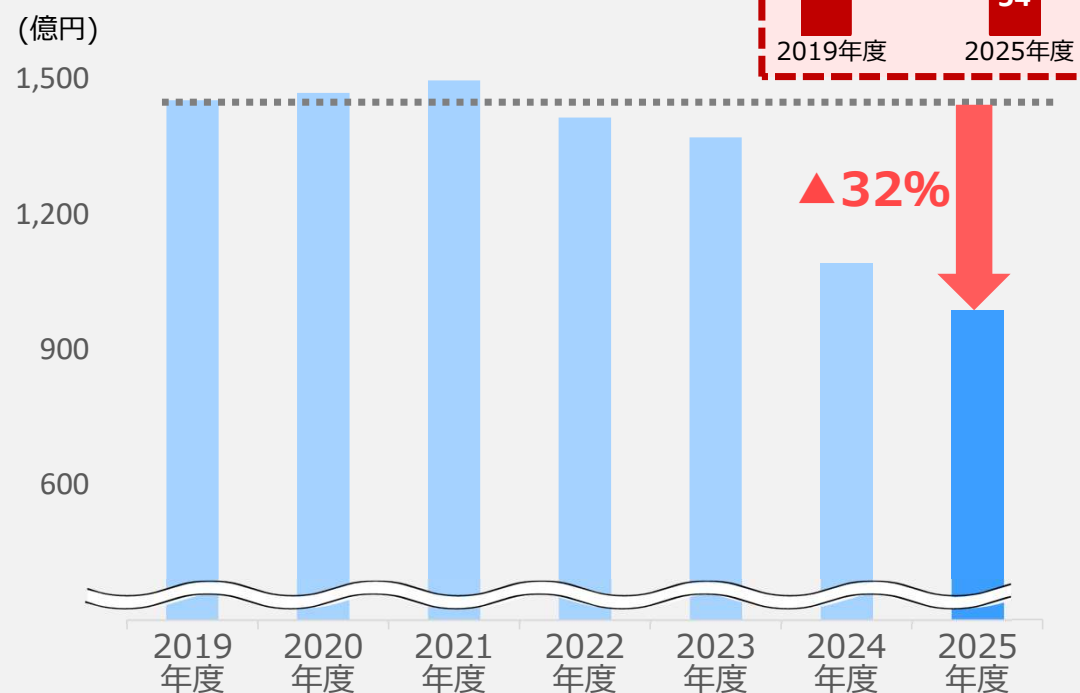


生産拠点の集約を推進し、損益分岐点を改善

<全拠点従業員総数>



<有形固定資産>



【スマート化】コスト競争力の向上 (スマート工場)

事業戦略

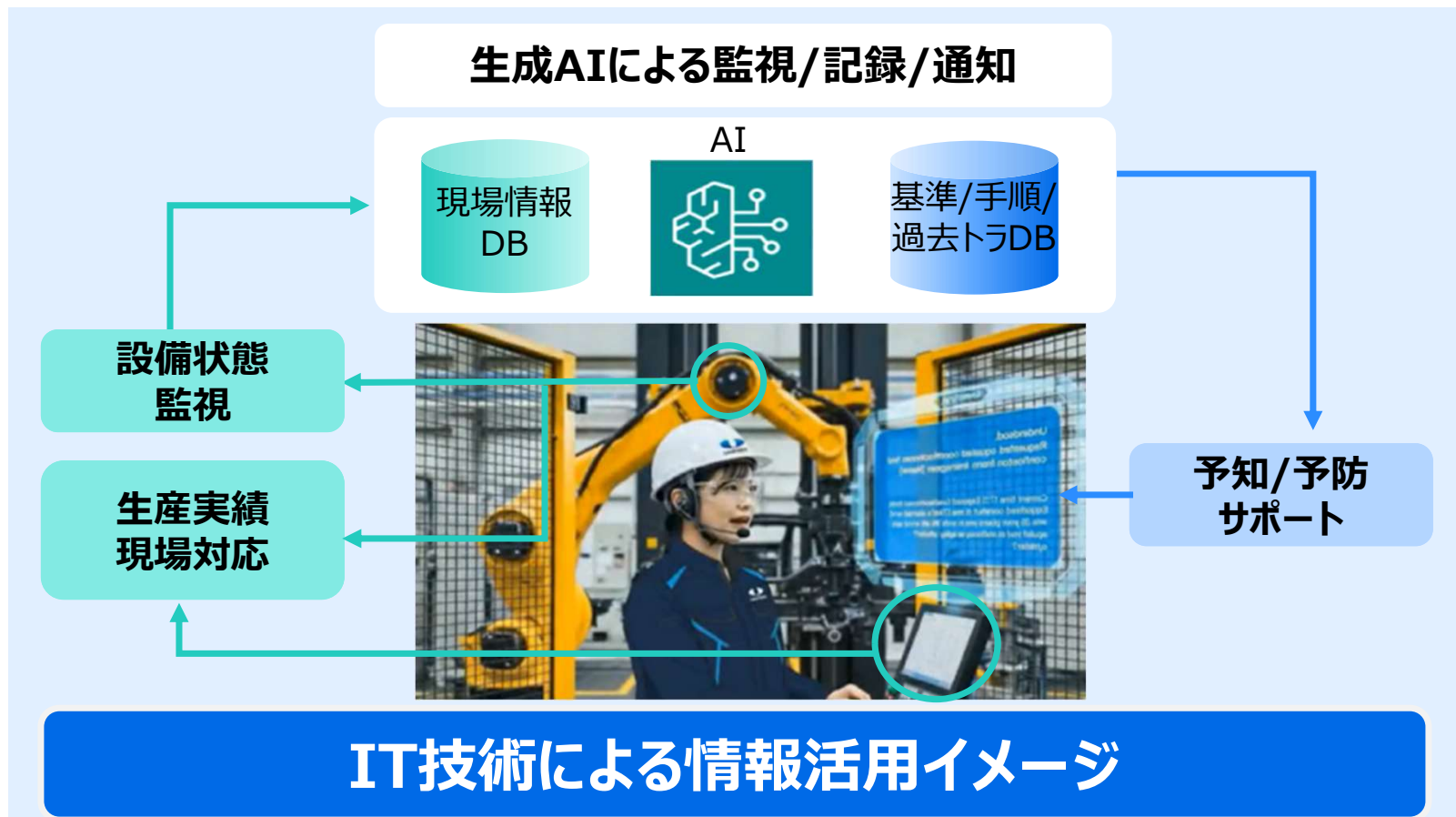
株主還元の充実

財務戦略

成長性への期待



価値ある現場情報を蓄積し、IT技術を活用したスマート化の実現



【成長戦略】 戦略的技術開発の充実・加速

事業戦略

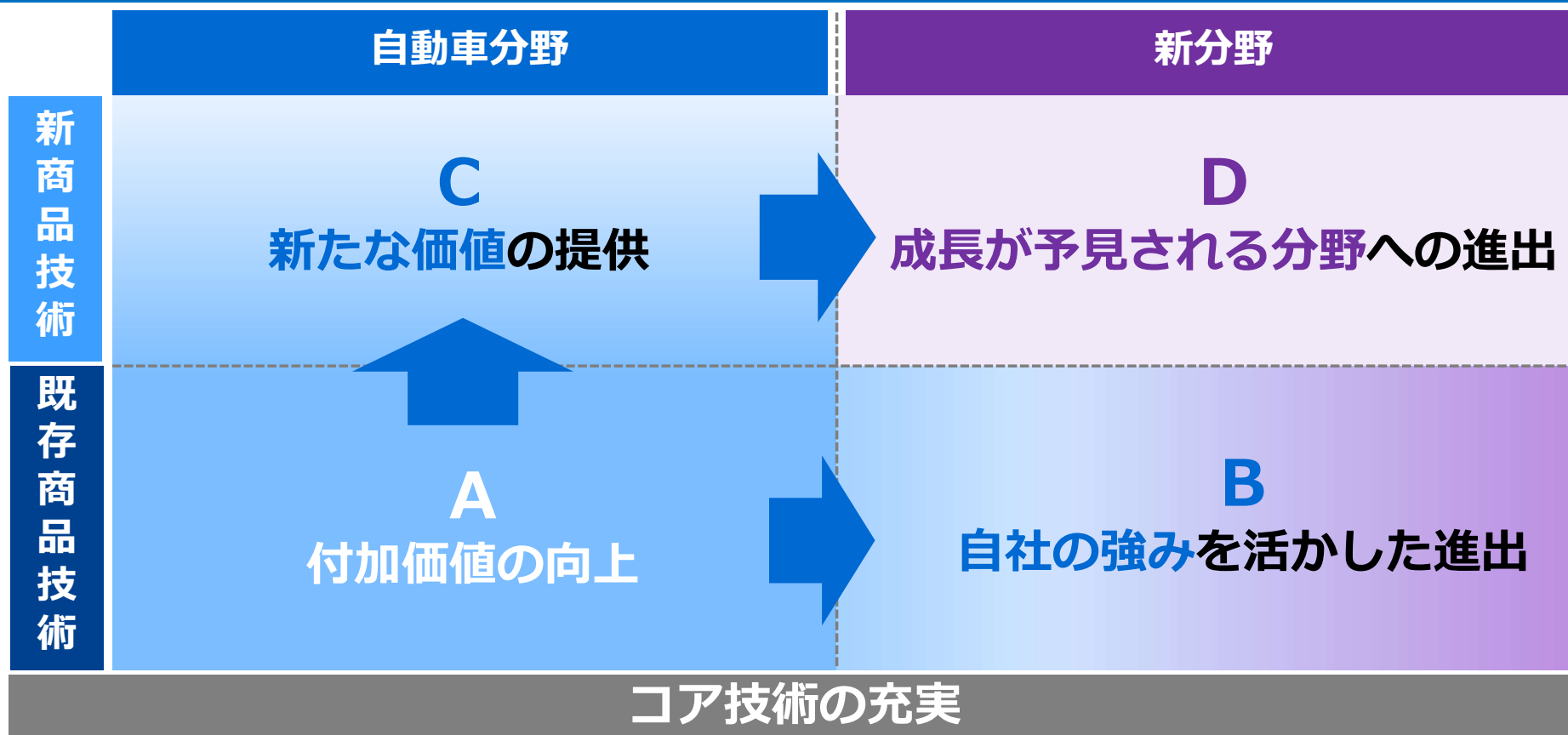
株主還元の充実

財務戦略

成長性への期待



基盤となるコア技術の一層の充実により、既存商品の付加価値を高めるとともに、将来の新品・新分野を見据えた戦略的技術開発を推進



【成長戦略】 戦略的技術開発の充実・加速

事業戦略

株主還元の充実

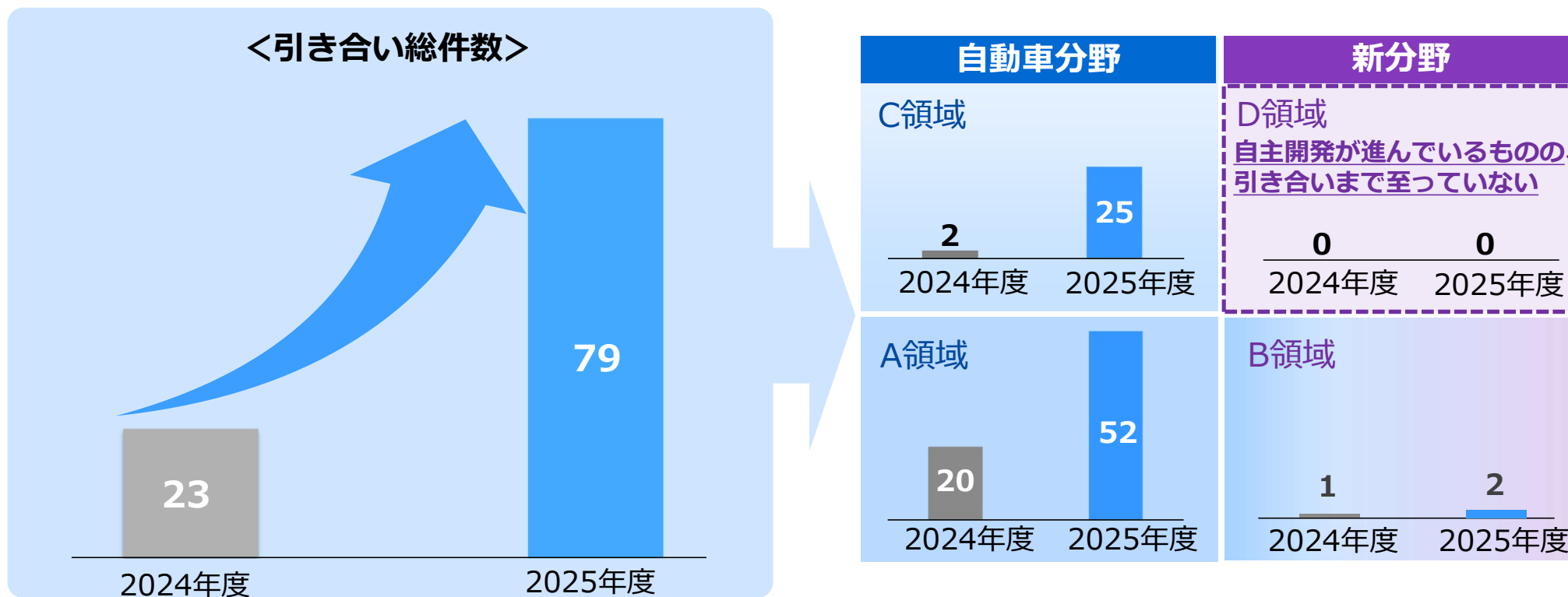
財務戦略

成長性への期待



- 自動車分野：低コスト化、軽量化、好調なHEV構成部品を中心に引き合いを拡大中
- 新分野：件数増加に向け、市場調査と商品化開発の取り組みを強化する

引き合い件数 拡大状況



【成長戦略】 戦略的技術開発の充実・加速

事業戦略

株主還元の充実

財務戦略

成長性への期待



＜引き合い獲得状況＞ 自動車分野：【A】領域

車体部品

・既存部品のHOT一体化



・HOT焼分け技術適用部品



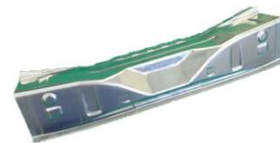
・冷間1.5GPa材 適用部品



・小Rバスタブ
(バッテリーケース等)



・アルミプレス部品

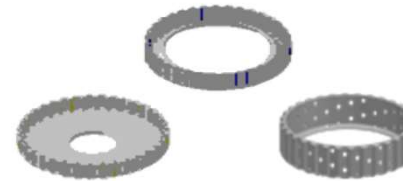


・HOT2.0GPa材適用部品

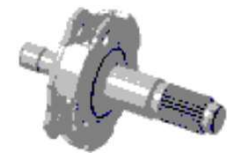


精密部品

・ハガタ部品



・キャリア部品



・プレート部品



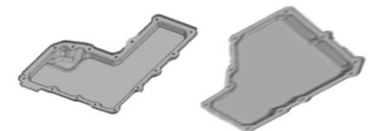
・ダンパー



・ピストン部品



・インバーターカバー



【成長戦略】 戦略的技術開発の充実・加速

事業戦略

株主還元の充実

財務戦略

成長性への期待



<引き合い獲得状況> 自動車分野：【C】領域

車体部品

・ホットスタンプ 大型一体化部品
(リアフレーム, ドアリング, フロントフロア)



・マルチマテリアル部品



精密部品

・長物バスバー



・ドライブシャフト



・シートアジャスタープレート



樹脂部品

・大型フルフラットカバー
(発泡3層化シート)



・吸音アンダーカバー
(吸音シート)



・吸音プロテクターフェンダー
(吸音シート)



【成長戦略】 戦略的技術開発の充実・加速

事業戦略

株主還元の充実

財務戦略

成長性への期待



＜引き合い獲得状況＞ 新分野：【B】領域

空調機分野	シート分野	汎用モビリティ分野
 <p>コンプレッサー部品</p>	 <p>シートフレーム部品</p>	 <p>ギア部品 クラッチ部品</p>

【成長戦略】 戦略的技術開発の充実・加速 (コア技術開発による将来目指す姿)

事業戦略

株主還元の充実

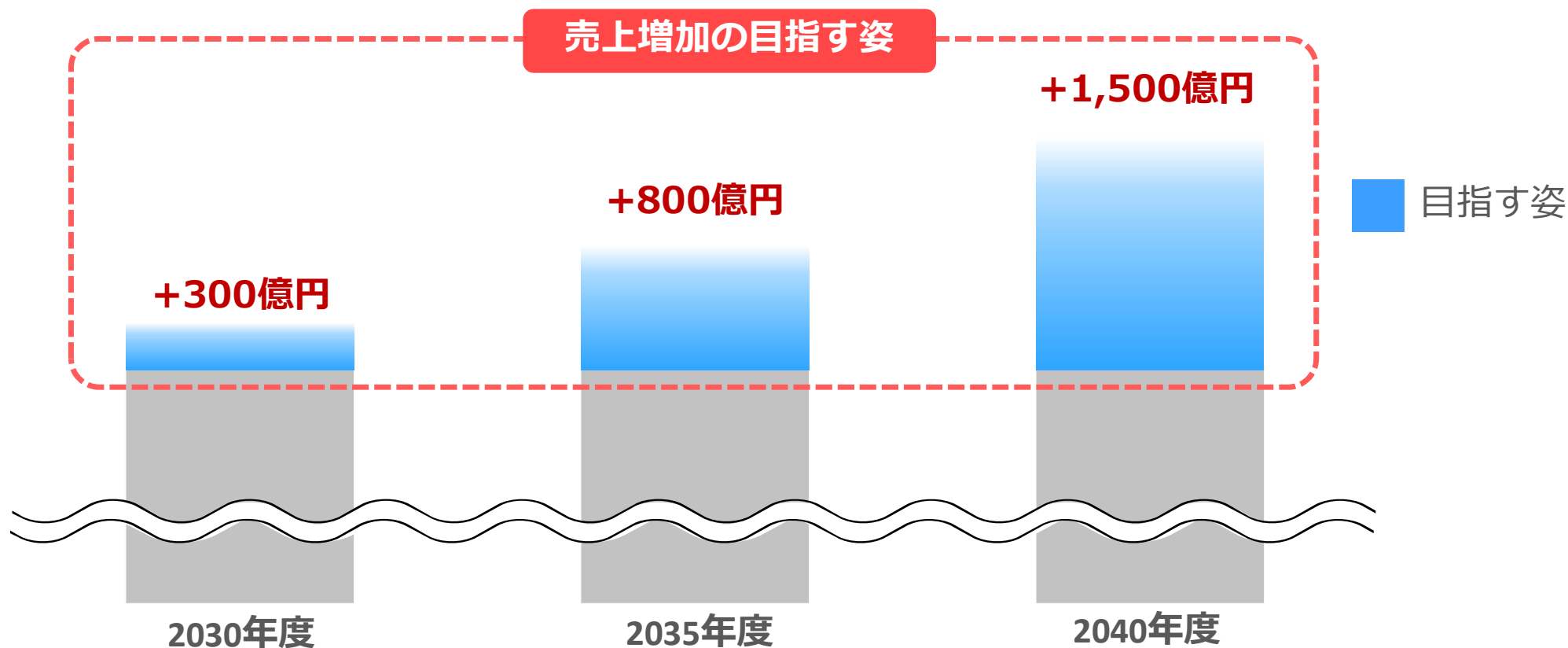


財務戦略

成長性への期待

53

コア技術の開発を加速させ、その技術を活用した新商品の展開を通じて付加価値向上や販路を拡大し、それに伴い売上の向上を図る



【成長戦略】 戦略的技術開発の充実・加速 (コア技術開発による将来目指す姿)

事業戦略

株主還元の充実

財務戦略

成長性への期待



2025年度 量産開始車種

日産



リーフ (日本・イギリス)



ルークス (日本)



セントラ (メキシコ)



ヴァーサ (メキシコ)



ローグPHEV (日本)



シルフィー (中国)



N6 (中国)



NX8 (中国)



アルピーヌ A390
(フランス)



カングーE-TECH
(フランス)

ルノー



ダスター (インド)

ホンダ



N-ONE e: (日本)

三菱



エクリプスクロス
(フランス)



デリカミニ/
eKスペース (日本)

マツダ



CX-5 (日本)

スズキ



フロンクス (インドネシア)

収益体質の強化と適切な自己資本の水準

事業戦略

株主還元の充実

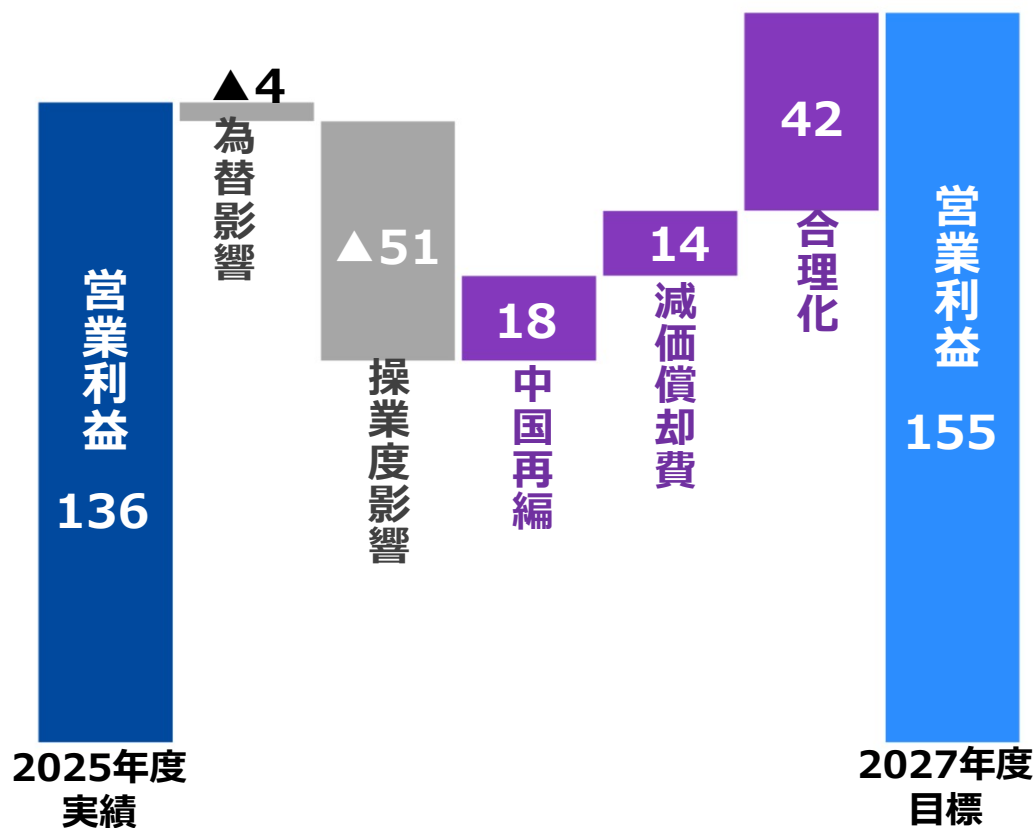
財務戦略

成長性への期待



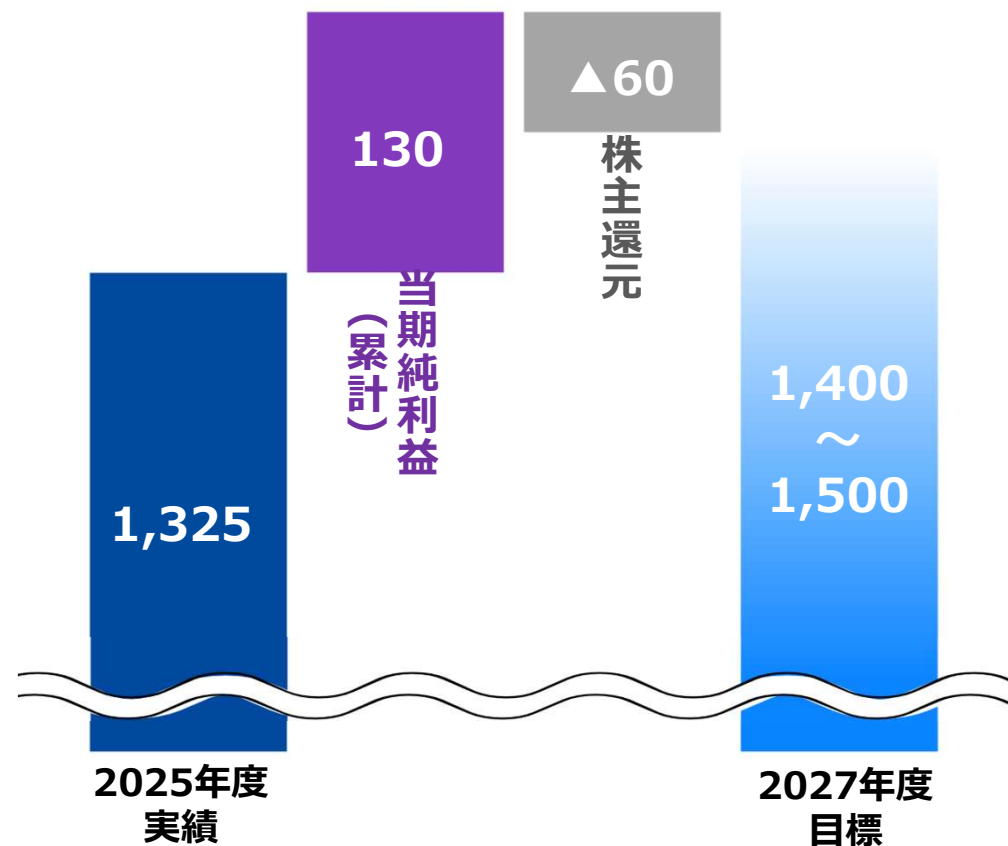
生産数量の変化に強い収益体質

単位：億円



事業構造に最適な自己資本

単位：億円



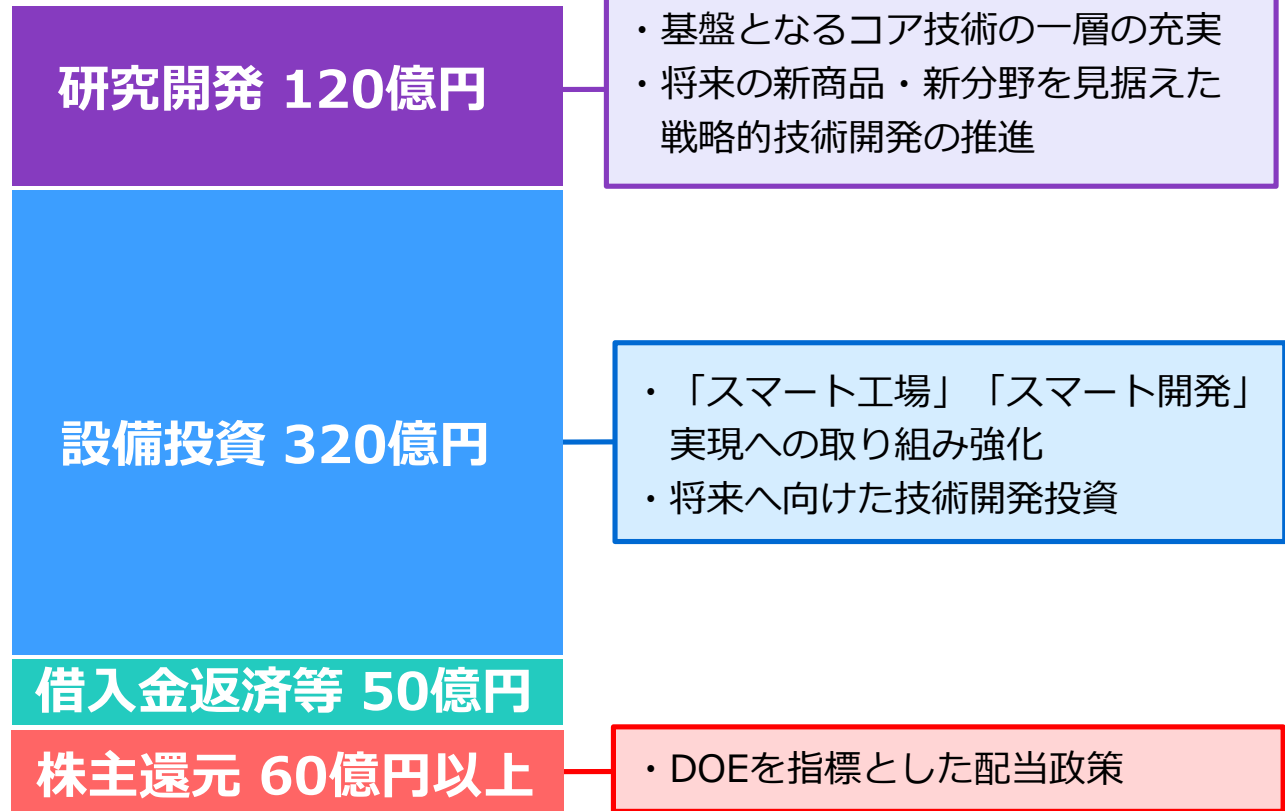
キャッシュアロケーション

■ 2026年度-2027年度2年間累計

<キャッシュイン>



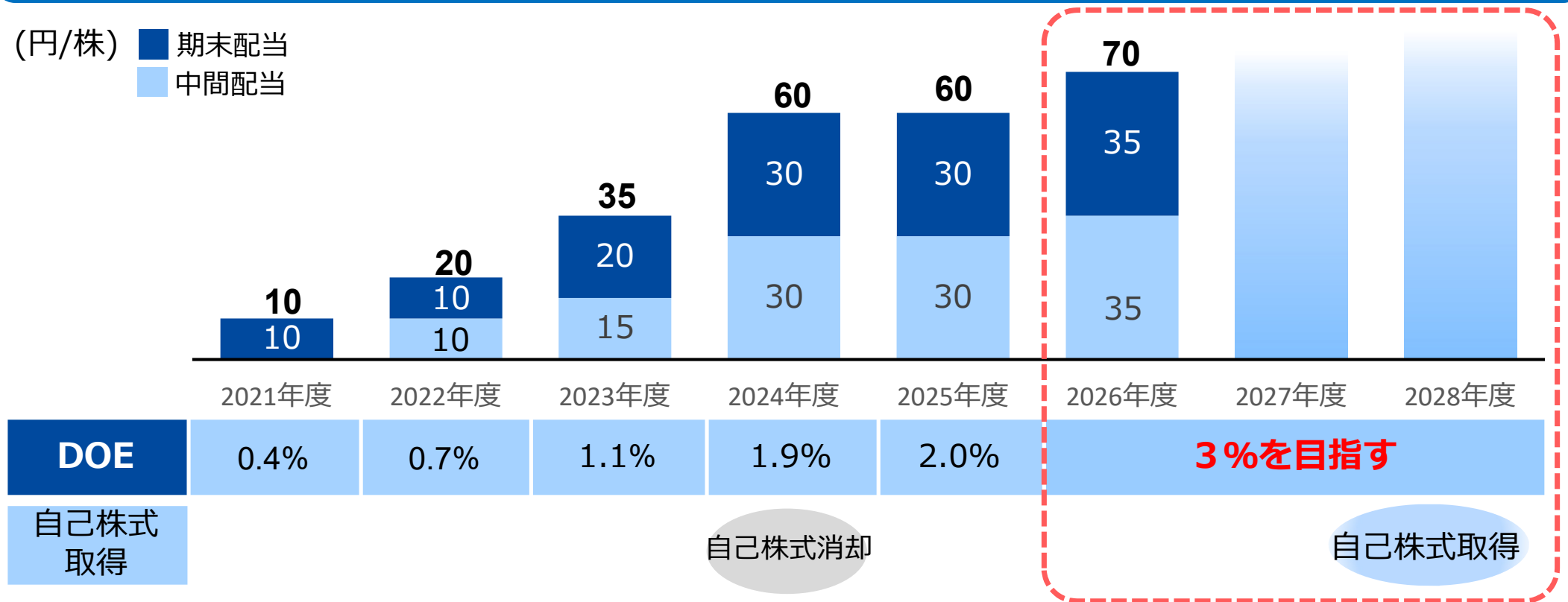
<キャッシュアウト>



株主還元の充実

- 配当は引き続きDOEを指標とし、中期的に3%を目指す
- 適切な自己資本の水準を維持しつつ、配当の強化を軸に自己株式取得も選択肢

(円/株) ■ 期末配当
■ 中間配当



経済的な価値の創出に加え、社会的な価値の創出を目指し、「Well-being」「ESGの取り組み」「カーボンニュートラル」に取り組んでいる

Well-being

・ 人的資本を強化

- ✓ キャリア充実の施策実施
- ✓ 女性管理職比率の更なる向上
- ✓ 心理的安全性向上
(全管理職向け研修の実施等)
- ✓ ヘルスリテラシー向上

ESGの 取り組み

・ 資源の有効活用

- ✓ リサイクル材の活用拡大
- ✓ 産業廃棄物リサイクル率向上
- ・ **社会貢献活動の推進**
 - ✓ 環境保全、次世代育成、
地域活動を中心に活動を推進
- ・ **コンプライアンスの強化**

カーボン ニュートラル

・ カーボンニュートラルの推進

- (2050年度 事業活動で排出する
GHG 排出量実質ゼロ)
- ✓ 環境貢献製品の開発推進
- ✓ 再生可能エネルギーの活用
- ✓ 省エネルギー活動の推進

サステナビリティ経営の推進 (Well-being)

事業戦略

株主還元の充実

財務戦略

成長性への期待



人的資本への投資 Well-being経営

- ◆ キャリア ◆ 人間関係 ◆ 経済的
- ◆ 心身の健康 ◆ 地域社会

< 個人の成長 >

< 会社の成長 >

企業価値の向上

2025年度 主な取り組み

- ✓ 男性の育児休業取得促進
- ✓ 仕事と家庭を両立しやすい環境づくり
- ✓ 従業員の健康増進に向けた取り組みを強化
(卒煙サポーター制度の開始、女性の健康セミナーの配信や健康関連休暇制度などを拡充)
- ✓ 女性社外取締役と女性社員との対話の機会創出
- ✓ 継続した賃金水準の引き上げ

社外評価



(2025年認定)



(2021年より連続6年認定)

サステナビリティ経営の推進 (ESGの取り組み)

事業戦略

株主還元の実現

財務戦略

成長性への期待



E (環境)

- ・プレス加工前の潤滑処理時に発生する汚泥をセメント原料として再資源化するとともに、梱包資材や粉体塗料のリサイクルを推進することで産業廃棄物リサイクル率を大幅に向上
- ・海外子会社を範囲に含め、すべての拠点でGHG（温室効果ガス）排出量の第三者認証を取得

G (ガバナンス)

- ・内部通報制度（外部窓口）をサプライヤーまで拡大し、サプライチェーン全体として、改正下請法、独禁法等の法令違反やハラスメント等の人権リスクの早期発見・救済措置ができる体制を整備
- ・自動車産業サイバーセキュリティガイドラインに沿った管理、監査の実施、サイバー事故発生時の事業継続計画の再整備により情報セキュリティ体制を強化

S (社会)

- ・森林や生物の保全活動をはじめ、国内の各拠点で多岐にわたる社会貢献活動を展開しており、2025年度は23件の取り組みを実施し、延べ500名の従業員が参加した



森林再生パートナー活動

- ・海外拠点においても、3つの重点分野「環境保全」「次世代育成」「地域活動」を定め、活動を実施



【環境保全】
植樹活動



【次世代育成】
子供向けレクリエーション



【地域活動】
フードバンク

サステナビリティ経営の推進 (カーボンニュートラル)

事業戦略

株主還元の充実

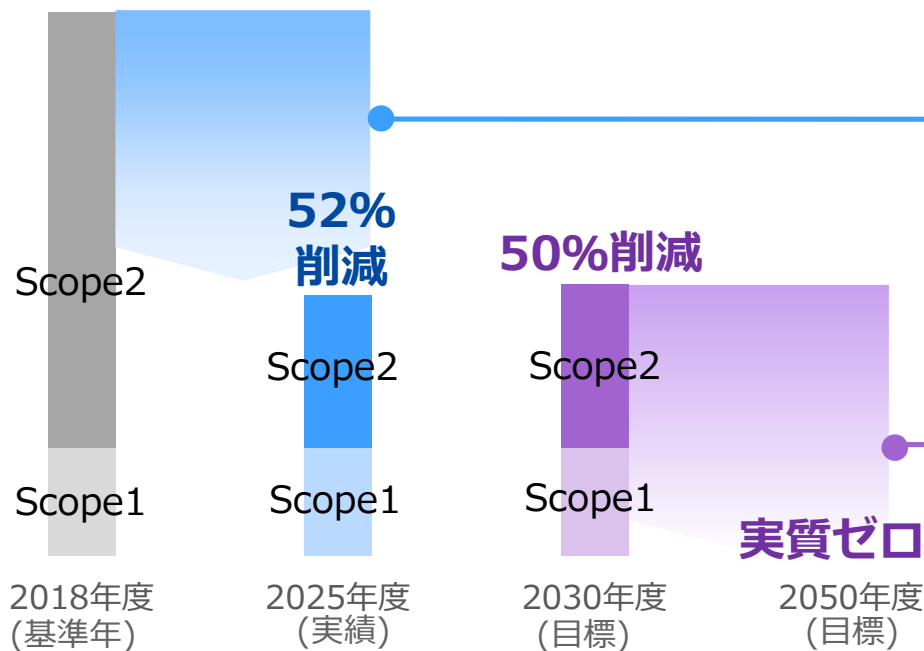
財務戦略

成長性への期待



取り組みの着実な推進および台数減少の影響により、GHG排出量50%削減を達成

- 【GHG（温室効果ガス）削減目標】
- ・ 2030年度 事業活動で排出するGHG排出量**50%削減**（2018年度比）
 - ・ 2050年度 事業活動で排出するGHG排出量**実質ゼロ**
 - ・ 2050年度チャレンジ サプライヤーとともにGHG排出量実質ゼロに取り組む



<取り組み>

- **太陽光発電導入の推進**
国内全拠点への導入が完了し、海外においても4ヶ国6拠点へ拡大
- **徹底した省エネルギー活動の実施**
生産設備の高効率化などを通じ、継続的な使用量削減を推進
- **CO₂フリー電力への転換強化**
再生可能エネルギー由来電力の活用を拡大

<今後の取り組み>

- **省エネルギーおよびエネルギー転換を一層強化**
- **カーボンオフセットの活用**
- **再生可能エネルギーの海外拠点への展開を加速**

CDP「サプライヤーエンゲージメント評価」において最高位のA評価を取得

- 「サプライヤーエンゲージメント評価」とは、サプライチェーンにおける気候変動問題への企業の取り組みを評価する指標である。
サプライヤーに働きかけて気候変動対策に取り組むことにより、カーボンニュートラル実現に向けての貢献度が高い企業を選定される。

<取り組み>

- サプライヤー向けミーティングを開催し、気候変動対策をはじめとする自社のサステナビリティへの取り組みを共有するとともに、サプライチェーン全体での取り組みを推進
- Scope1・2に加え、Scope3の一部について第三者保証を取得し、温室効果ガス排出量データの信頼性・透明性を向上



日産より車体部品の品質などに関する取り組みにおいて
高く評価され、関連する賞を受賞した

＜欧州日産＞ Regional Quality Award

日産が年間を通して品質全般において貢献した取引先に
贈呈される最上位の賞である。



左から2番目 日産自動車株式会社
AMIEO地域 Chairperson
マッシミリアーノ・メッシーナ氏
右から2番目 ユニプレスイギリス
Managing Director 山中 光伸氏

＜東風日産＞ 最優秀サプライヤー賞

品質、価格、納期、開発、サービス
全てにおいて最も優れたサプ
ライヤーに贈呈される賞である。



＜鄭州日産＞ アフターセールス賞

サービス部品の要求に対して納期
通り品質の良い製品を納入したサ
プライヤーに贈呈される賞である。



投資家との対話強化

事業戦略

株主還元の充実

財務戦略

成長性への期待



64

投資家の皆さまとの対話に加え、実際の生産現場をご覧いただくことで、
当社の技術力や取り組みへの理解をより深めた

2025年度取り組み

● 株主・投資家と積極的な対話を行い、得られた知見を取締役会へフィードバック

	スピーカー	回数
決算説明会	代表取締役社長、財務担当役員、技術担当役員、工場・生産担当役員	2回
機関投資家・アナリストとの個別対話	財務担当役員、IR担当役員	6 7回
議決権行使担当者等との個別対話	IR担当役員	8回

● 機関投資家・アナリスト向けに、ユニプレス九州工場見学会を実施

- ✓ 当日は機関投資家・アナリスト13名にご参加いただき、ユニプレス九州の概要説明に続き、圧造・組立工場やホットスタンプライン、自動化設備等をご見学いただきました。
- ✓ コイル材からブランキング、プレスまでの一貫生産体制や、リアルタイム監視による稼働ロス低減など、生産性向上に向けた取り組みに加え、自動搬送・自動倉庫の取り組みをご覧いただき、理解を深めていただきました。





プレスのかで、未来にプラス。